



FUKUOKA



承くきたネットワーク

福岡・北九州高速道路の概要

福岡北九州高速道路公社
令和7年(2025年)7月



KITAKYUSHU



基本理念

福岡・北九州両都市圏における安全・円滑な都市高速道路ネットワークを運営することにより、都市圏内外の人と物の交流を促進し、経済の発展、環境の改善及び生活の向上に貢献します。

経営理念 -基本理念を実現するための経営の基本方針-

お客様第一

お客様に満足いただける、安全・安心・円滑な質の高い都市高速道路サービスを提供します。

社会的責任

高い倫理観を持ち、都市高速道路の専門家集団としての総合力を発揮して、お客様や地域の皆様に信頼される組織を目指します。

安定した経営

健全かつ効率的な経営により、将来にわたり良好な都市高速道路サービスを提供します。

公社の管理する2つの都市高速道路



(表紙写真) 福岡高速道路

北九州高速道路

(左上) 福岡高速1号線(環状線)荒津大橋

(右上) 福岡高速オーブントップバスイベント

(右下) 北九州高速5号線(戸畑枝光線)牧山出入口付近

(左下) 北九州高速ウォーキングイベント

公社プロフィール

福岡北九州高速道路公社は、福岡高速道路（福岡高速）と北九州高速道路（北九州高速）の新設改築・維持管理などを行うことにより、お客様に安全・安心・円滑な質の高い道路サービスを提供していきます。

■ 設立年月日

昭和46年（1971年）11月1日
福岡県、福岡市、北九州市により設立
（地方道路公社法第8条）

■ 所在地

本社・福岡事務所
福岡市東区東浜2丁目7番53号
北九州事務所
北九州市小倉北区東篠崎3丁目1番1号

■ 業務

福岡都市圏及び北九州都市圏の交通体系の根幹となるネットワークを形成する指定都市高速道路の新設又は改築等
（1）都市高速道路の新設、改築、維持、修繕、災害復旧
その他の管理
（2）委託に基づく都市高速道路の管理と密接な関連のある道路の管理

■ 供用延長

111.5km	福岡高速	59.3km
	北九州高速	52.2km

■ 通行料金

福岡	普通車	630円	大型車	1,260円
北九州	普通車	520円	大型車	1,050円

■ 料金収入（令和6年度）

606.0億円／年	福岡	438.3億円／年
	北九州	167.7億円／年
1.66億円／日	福岡	1.20億円／日
	北九州	0.46億円／日

■ 通行台数（令和6年度）

10,145万台／年	福岡	7,020万台／年
	北九州	3,125万台／年
27.8万台／日	福岡	192,332台／日
	北九州	85,626台／日

※端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

■ 役員・職員数（令和7年7月1日現在）

210名 うち常勤役員 5名

目次

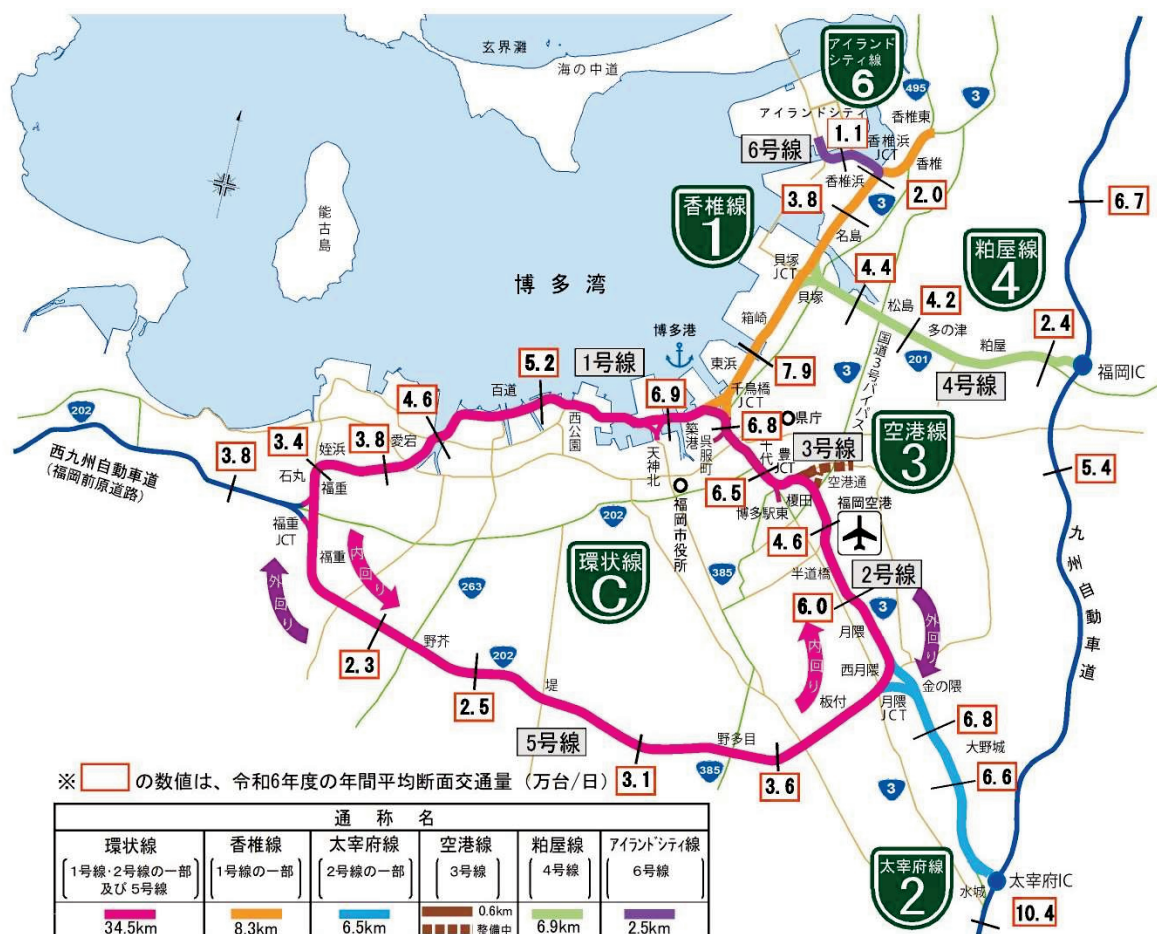
公社プロフィール	1
1 福岡高速道路・北九州高速道路とは	
1) 福岡高速道路	2
2) 北九州高速道路	4
2 ネットワーク機能の強化	
1) 福岡高速道路のネットワーク	6
2) 北九州高速道路のネットワーク	8
3 安心のための維持管理	
1) メンテナンスサイクルの取組	10
2) 日常的な維持管理の取組	10
3) 老朽化・予防保全対策（福岡高速道路）	11
4) 大規模修繕（北九州高速道路）	12
4 災害対応力の強化	
1) 大規模災害への備え	13
2) 耐震補強（北九州高速道路）	14
5 安全・快適なサービスの提供	
1) 事故・渋滞対策	15
2) 交通管理の取組	17
3) お客様サービスの推進	19
6 信頼される事業運営	
1) 料金収入・通行台数・供用延長の推移	20
2) 高架下駐車場	21
3) 年度別収支の状況（令和6年度）	22
4) 資金の調達と借入れ状況	24
5) 令和7年度予算	26
6) 役員・組織	26
7) 主な経緯 （計画路線・償還期間・主な供用・その他）	27

1 福岡高速道路・北九州高速道路とは

1) 福岡高速道路

路線図・交通量

福岡高速の供用延長は59.3km、整備中延長は1.2kmで、令和6年度の1日あたりの平均通行台数は192,332台となっています。



路線概要

区分	路線名	起 点	終 点	車線数	設計速度 (km/h)	延 長 (km)	整備期間 (※1)
福岡高速道路	福岡高速1号線	福岡市 東区香住ヶ丘	福岡市 西区福重	4・6	60	18.0	昭和46年度～平成13年度
	福岡高速2号線	福岡市 博多区千代	太宰府市 水城	4	60・80 (※2)	13.2	昭和47年度～平成10年度
	福岡高速3号線	福岡市 博多区東光	福岡市 博多区大字下臼井	4	60	1.8	昭和48年度～昭和63年度 令和3年度～整備中
	福岡高速4号線	福岡市 東区箱崎ふ頭	福岡市 東区蒲田	4	60 (※3)	6.9	平成3年度～平成13年度
	福岡高速5号線	福岡市 博多区西月隈	福岡市 西区福重	4	80	18.1	平成10年度～平成24年度
	福岡高速6号線	福岡市 東区香椎浜	福岡市 東区みなと香椎	4	60	2.5	平成28年度～令和2年度
	合 計					60.5	

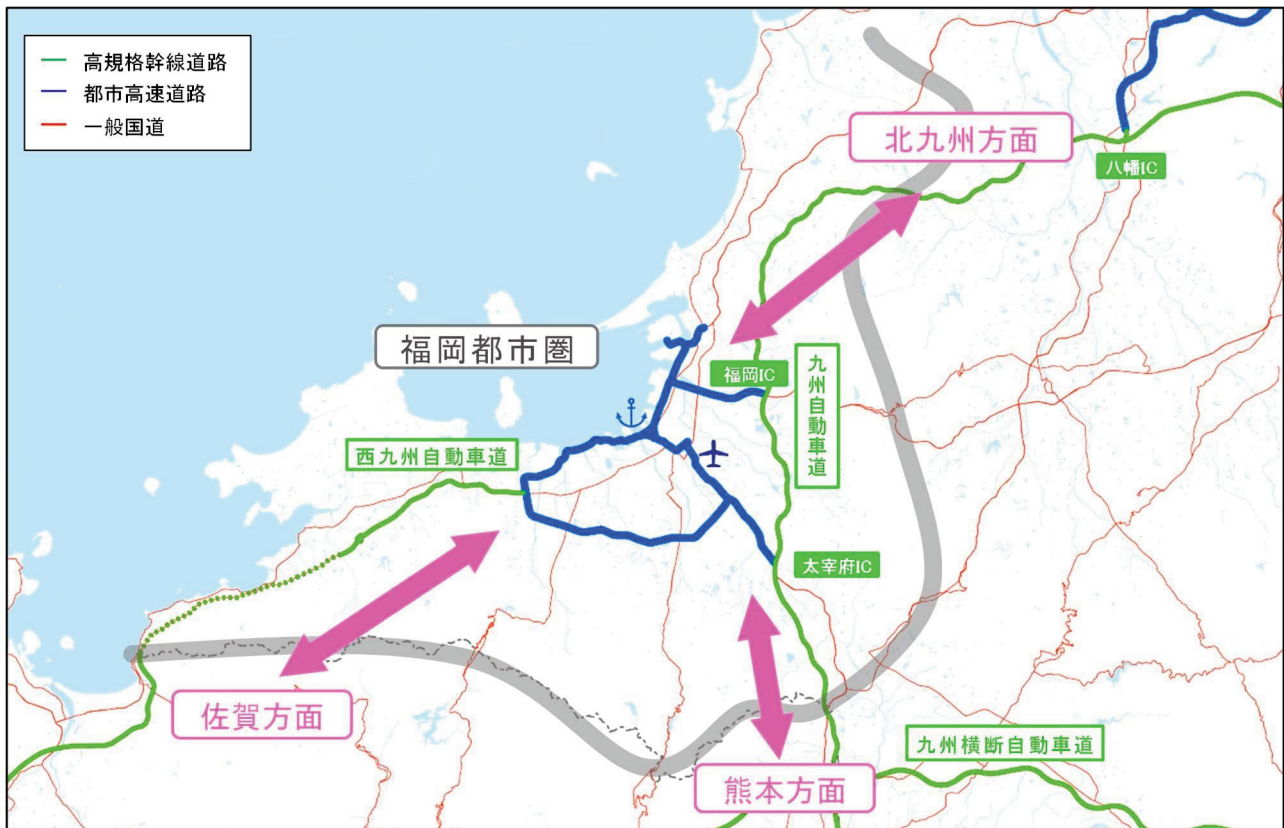
(※1) 「整備期間」は各路線の建設着手から最新供用および整備中の期間

(※2) 80km/h（金の隈～水城）、60km/h（左記区間以外）

(※3) 福岡高速4号線は 貝塚JCT付近～福岡IC付近において、規制速度80km/hとして運用

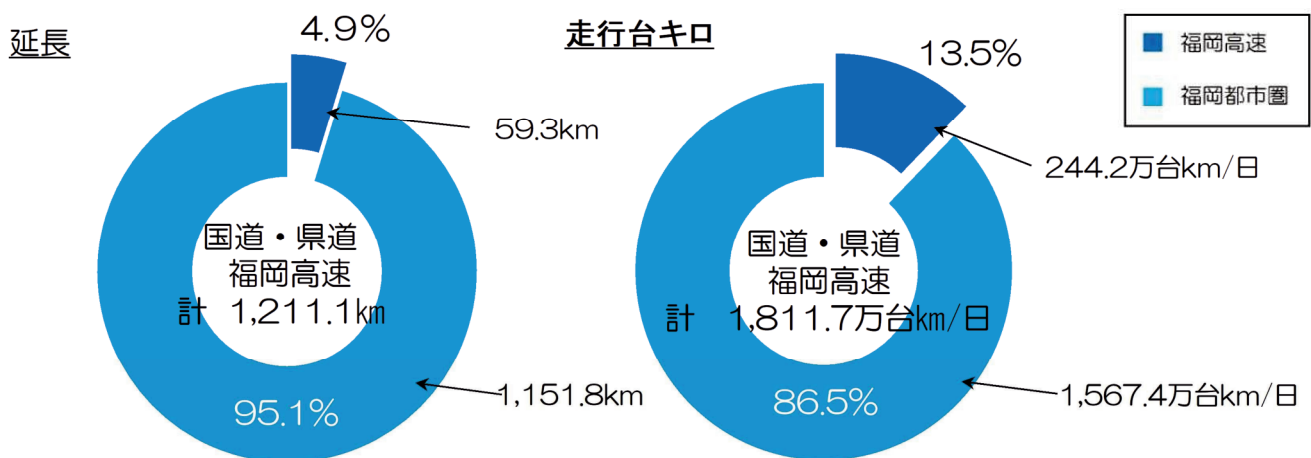
役割

福岡都市圏における放射環状道路網の枢要を担う自動車専用道路であり、市街地の渋滞緩和のみならず、九州自動車道や西九州自動車道と接続すること等により北九州方面や佐賀方面、熊本方面とのアクセス向上にも大きく寄与しています。



福岡高速は一般道路の約 3 倍の交通を分担

福岡高速の道路延長は福岡都市圏全体の 4.9%ですが、走行台キロは 13.5%を占めています。福岡都市圏の一般道路における 1km あたりの走行台数と比べた場合、約 3 倍の交通を支えています。



(令和3年度道路交通センサスを基に算出)

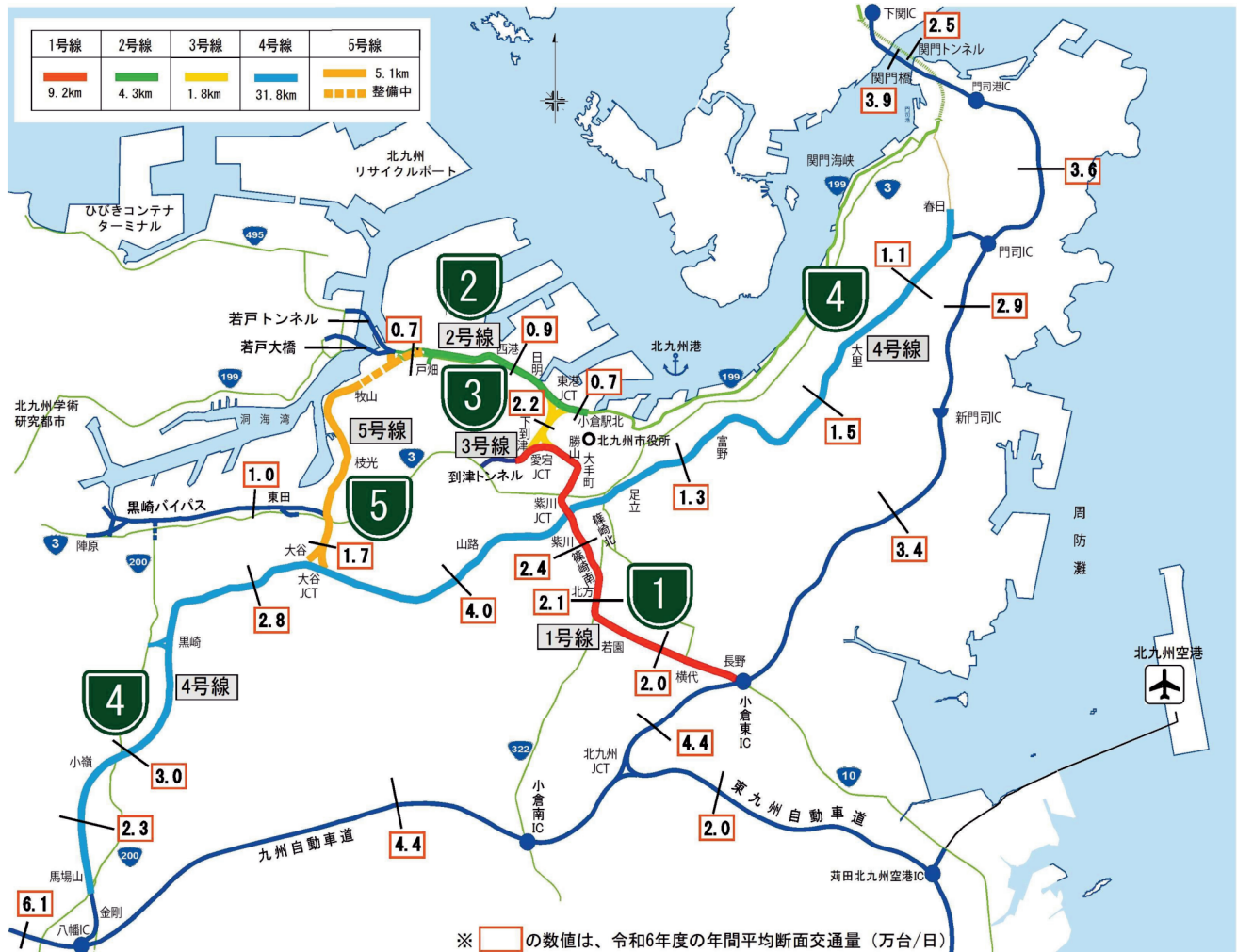
※福岡都市圏：福岡市、筑紫野市、春日市、大野城市、宗像市、太宰府市、古賀市、福津市、糸島市、那珂川市、宇美町、篠栗町、志免町、須恵町、新宮町、久山町、粕屋町

※走行台キロとは 1 日の道路を通行する車両(往復)の交通量に道路延長を掛けた数値

2) 北九州高速道路

路線図・交通量

北九州高速の供用延長は52.2km、整備中延長は2.5kmで、令和6年度の1日あたりの平均通行台数は85,626台となっています。



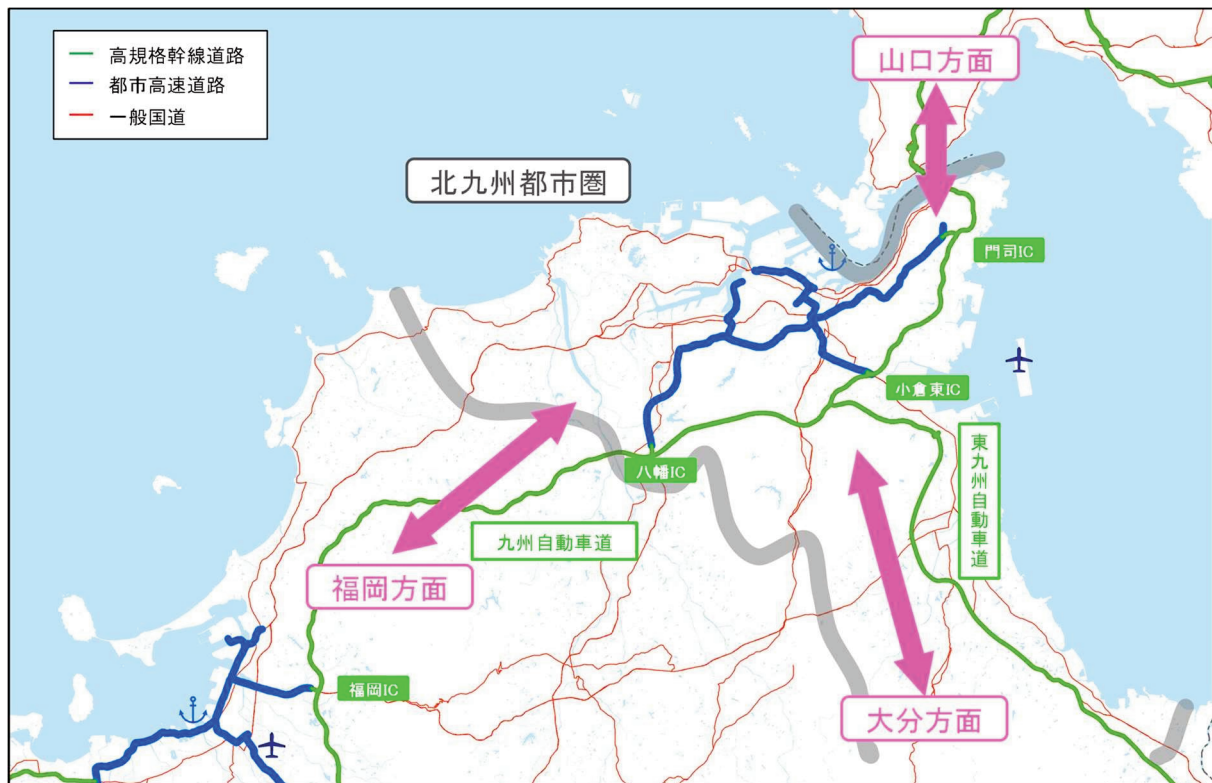
路線概要

区分	路線名	起 点	終 点	車線数	設計速度 (km/h)	延 長 (km)	整備期間 (※1)
北九州高速道路	北九州高速1号線	北九州市小倉南区長野	北九州市小倉北区下道津	4	60	9.2	昭和46年度 ~ 平成17年度
	北九州高速2号線	北九州市小倉北区許斐町	北九州市戸畑区大字戸畑	4	60	4.3	昭和47年度 ~ 平成元年度
	北九州高速3号線	北九州市小倉北区菜園場	北九州市小倉北区東港	6	60	1.8	昭和47年度 ~ 昭和63年度
	北九州高速4号線	北九州市門司区春日町	北九州市八幡西区茶屋の原	4	60・80 (※2)	31.8	平成2年度 (※3) ~ 平成7年度
	北九州高速5号線	北九州市戸畑区大字戸畑	北九州市八幡東区神山町	4	60	7.6	平成10年度 ~ 平成14年度 令和5年度 ~ 整備中
	合 計					54.7	

(※1) 「整備期間」は各路線の建設着手から最新供用および整備中の期間
(※2) 80km/h（黒崎～馬場山）、60km/h（左記区間以外）
(※3) 北九州高速4号線は平成2年度に日本道路公団（現NEXCO）から引き継いだ路線
※ 北九州高速1～4号線では耐震補強事業を実施中

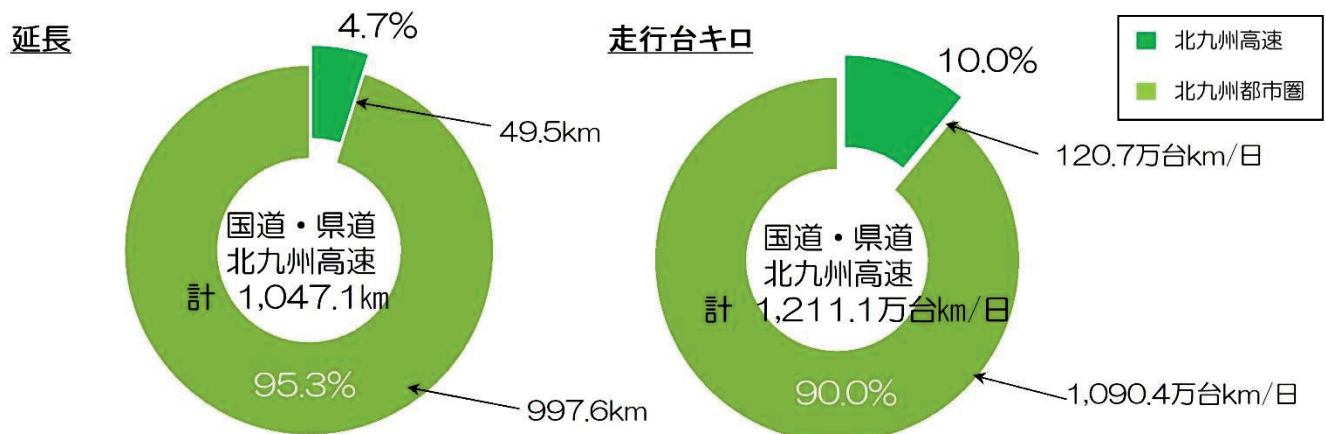
役割

北九州都市圏における放射環状道路網の枢要を担う自動車専用道路であり、市街地の渋滞緩和のみならず、九州自動車道と接続すること等により福岡方面や大分方面、山口方面とのアクセス向上にも大きく寄与しています。



北九州高速は一般道路の約 2 倍の交通を分担

北九州高速の道路延長は北九州都市圏全体の 4.7%ですが、走行台キロは 10.0%を占めています。北九州都市圏の一般道路における 1km あたりの走行台数と比べた場合、約 2 倍の交通を支えています。



(令和3年度道路交通センサスを基に算出)

※北九州都市圏：北九州市、行橋市、豊前市、中間市、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、苅田町、みやこ町、築上町

※走行台キロとは 1 日の道路を通行する車両(往復)の交通量に道路延長を掛けた数値

2 ネットワーク機能の強化

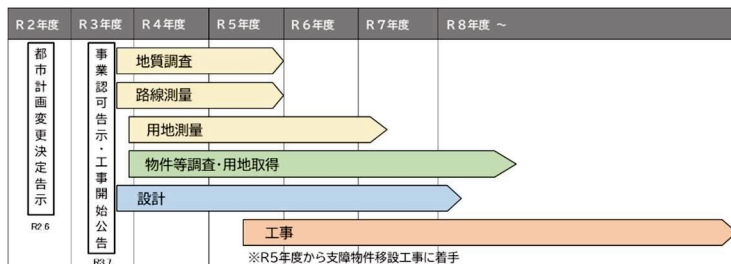
1) 福岡高速道路のネットワーク



福岡高速3号線（空港線）延伸

福岡空港の機能強化が進められている中、福岡市南部地域や太宰府IC方面からの国内線旅客ターミナルへのアクセス強化と、空港口交差点をはじめとする福岡空港周辺道路の混雑緩和を図ります。

令和6年度は、物件等調査・用地取得や支障物件移設工事等を実施しました。令和7年度は、残る用地測量や設計を進め、物件等調査・用地取得に取り組むとともに引き続き、工事を行います。

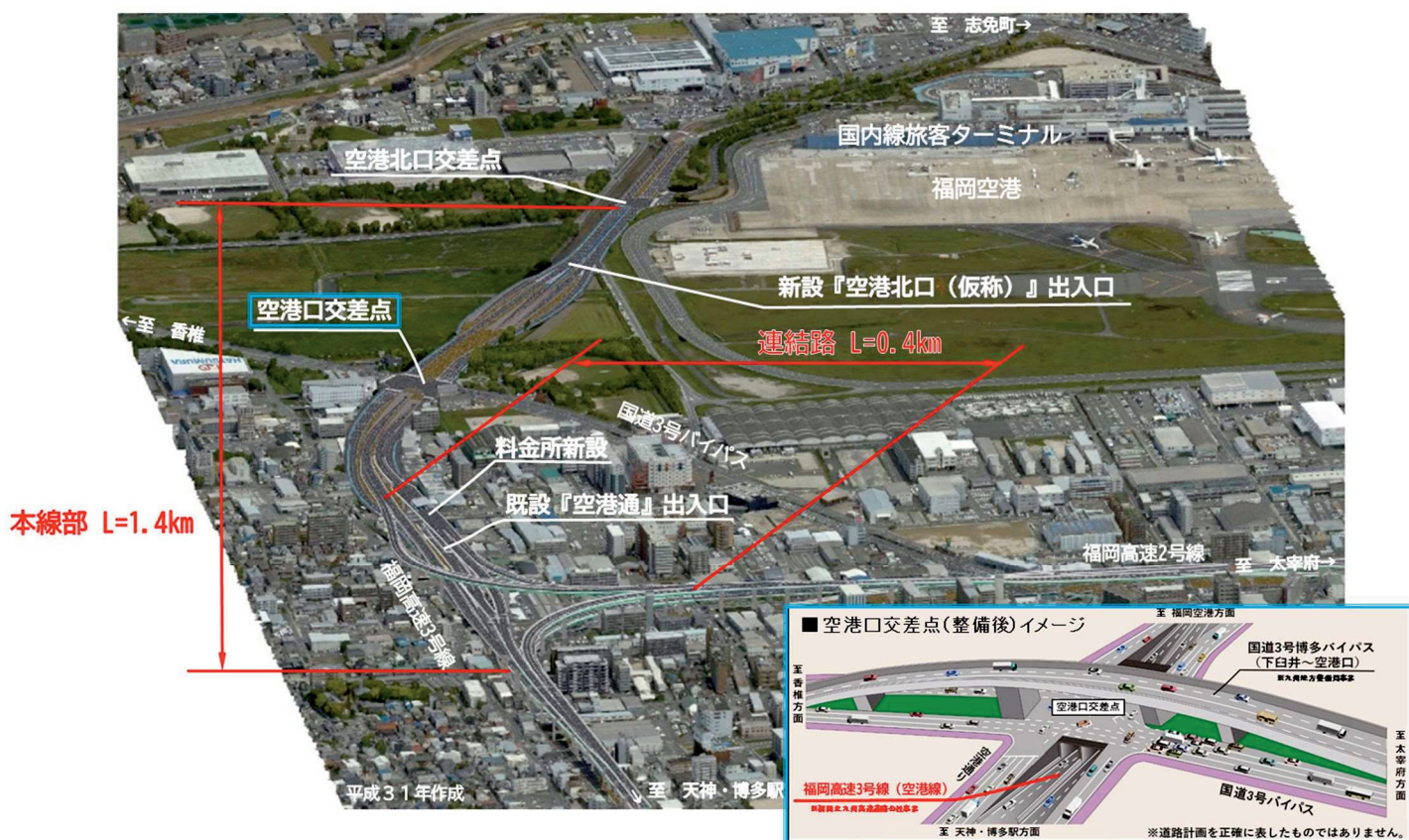
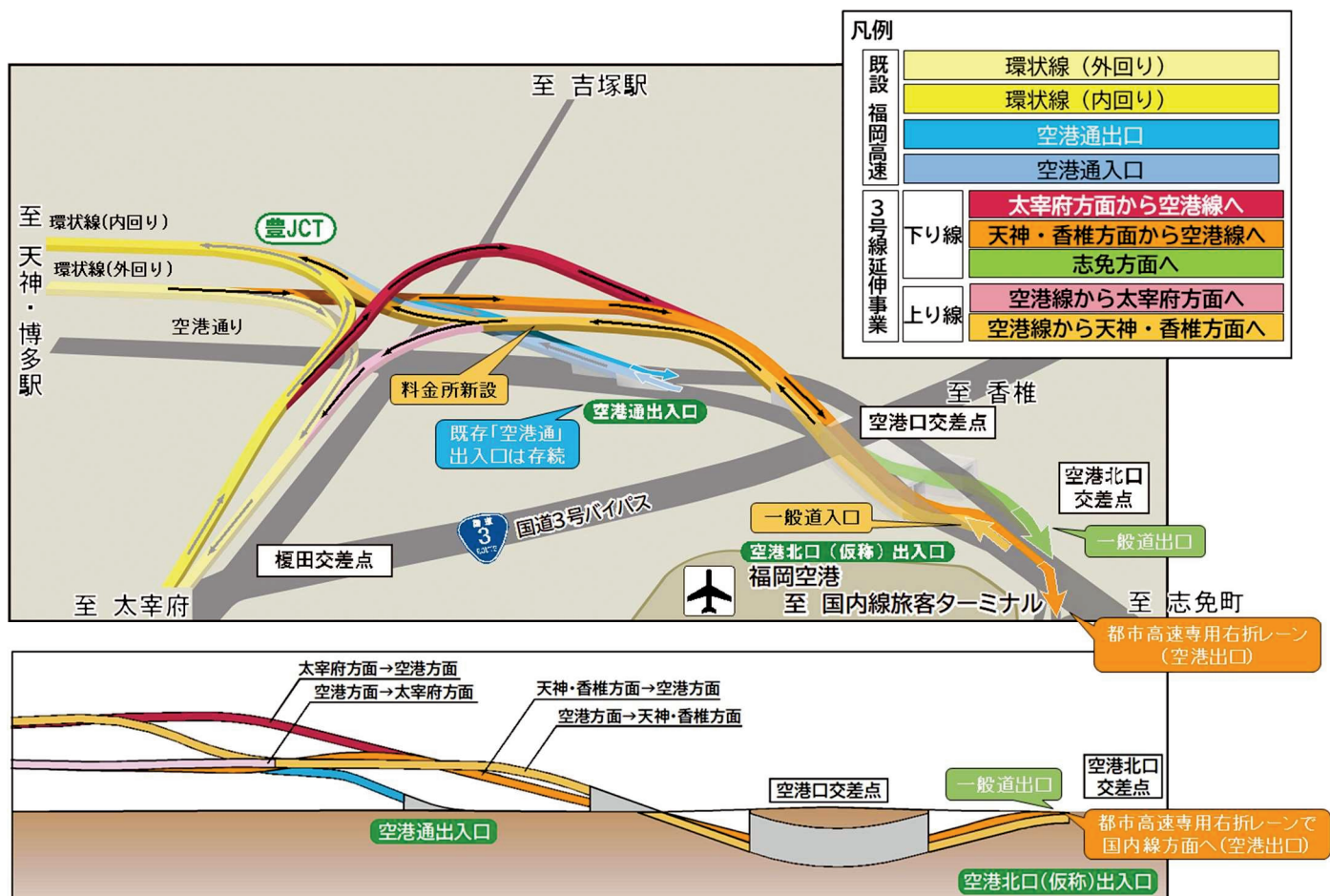


▲位置図

▲スケジュール

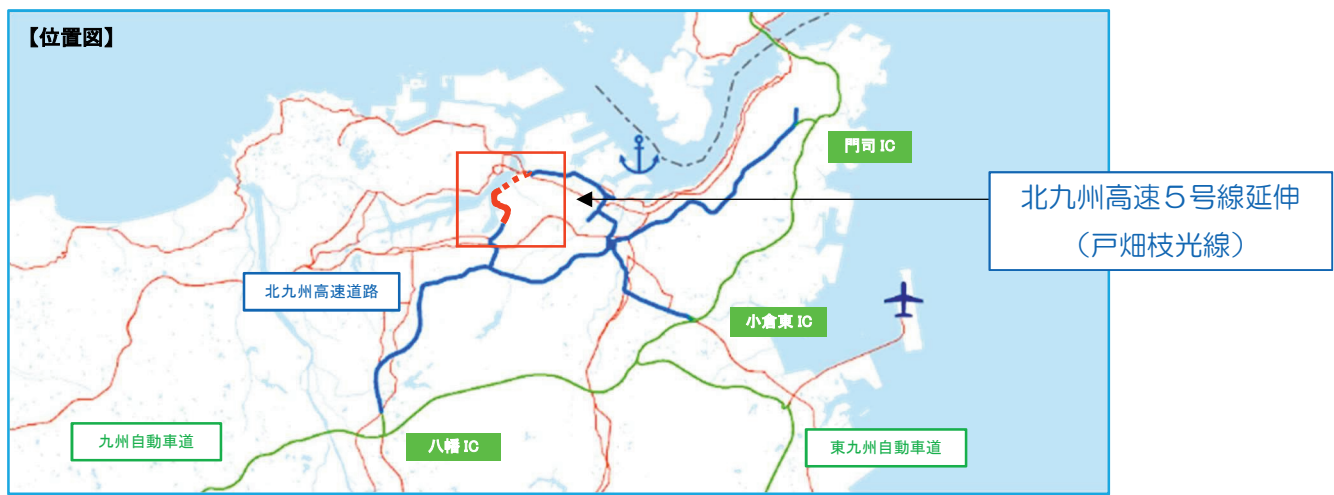


▲計画平面図



▲イメージパース(天神・博多駅方面から空港方面)

2) 北九州高速道路のネットワーク



北九州高速5号線延伸（戸畑枝光線）

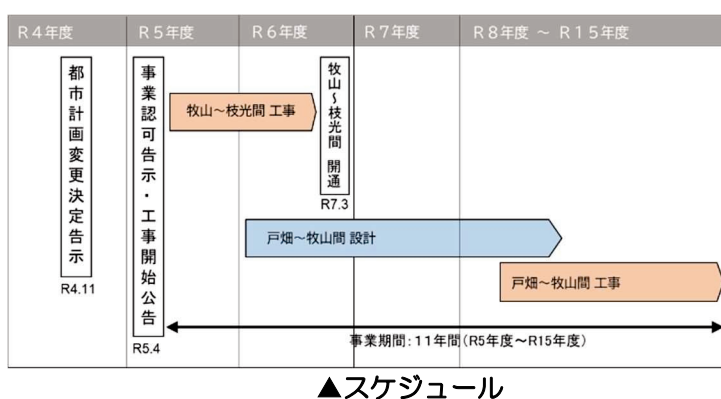
放射環状型の自動車専用道路ネットワークを構築し、円滑な物流・人流の支援及び災害に強い強靱なネットワークの形成を図ります。



令和5年度から北九州市の街路事業と福岡北九州高速道路公社の有料道路事業の合併施行方式で整備を進めています。

令和6年度は、開通に向けて牧山～枝光間の舗装や防護柵、標識等の工事を実施するとともに戸畑～牧山間の道路設計に着手しました。

令和7年度は、令和6年度に引き続き、戸畑～牧山間の道路設計を行います。



■ 牧山～枝光間 開通

北九州高速5号線延伸（戸畑枝光線）の牧山～枝光間2.7kmが令和7年3月1日に開通しました。また、枝光入口（枝光北料金所）は、ETC専用料金所として運用しています。



▲テープカット・くす玉開披



▲通り初め



▲枝光料金所(ETC 専用)

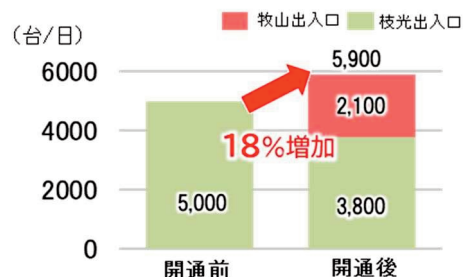
■ 開通後の整備効果（1か月速報）

枝光出入口の交通が牧山出入口へ一部転換するとともに、両出入口を合わせた交通量は約18%増加しました。

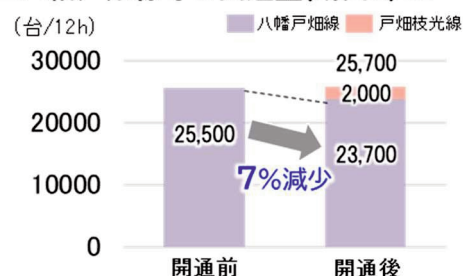
並行する八幡戸畑線（県道50号）では北九州高速への交通転換などにより交通量が約7%減少し、枝光交差点の渋滞が解消する日も確認できるなど、一般道の渋滞緩和に寄与しています。



■ 牧山出入口及び枝光出入口の交通量 ※1



■ 八幡戸畑線等の交通量(断面A) ※2

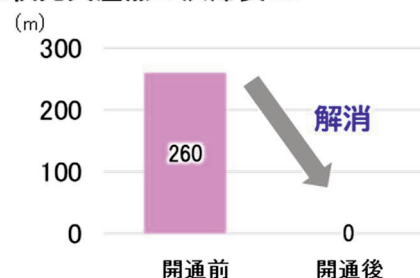


開通前

開通後

▲枝光交差点の渋滞状況

■ 枝光交差点の渋滞長 ※2



※1 トラフィックカウンター値：開通前：R6.3月の全日平均、開通後：R7.3月の全日平均

※2 交通実態調査、トラフィックカウンター値：開通前：R5.10.18(水)、開通後：R7.4.8(火)

3 安心のための維持管理

1) メンテナンスサイクルの取組

都市高速の安全かつ円滑な交通を保持するためには、道路を常に良好な状態に保つ必要があります。このため、インフラ長寿命化計画（行動計画、個別施設計画）に基づき、メンテナンスサイクル（点検・診断・措置・記録）の取組を確実に実施しながら、構造物・施設の適切な維持管理を行っています。



5年に1回の頻度で、
全数近接目視点検を実施



点検、診断、措置の取組を
データベース等へ記録



国の要領を基に統一的な尺度で、
健全性の診断を実施



点検・診断結果を基に、計画的な
予防保全補修を実施

2) 日常的な維持管理の取組

緊急事象への対応

路面の損傷や交通事故による施設の損傷、落下物の回収をはじめとする都市高速道路上でのあらゆる緊急事象に対応できるように24時間365日体制で臨んでいます。



事故対応



緊急補修対応

道路清掃等の定期管理

安全かつ快適に走行できるように路面清掃や草刈等の維持管理を定期的に行っています。



路面清掃



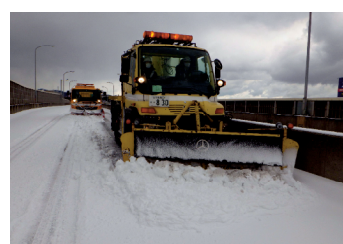
草刈

積雪・凍結への対応

路面凍結による事故を未然に防ぐため、状況により凍結防止剤の散布を行っています。また、積雪による通行止めの場合、除雪作業を実施して早期開放に努めています。



除雪作業



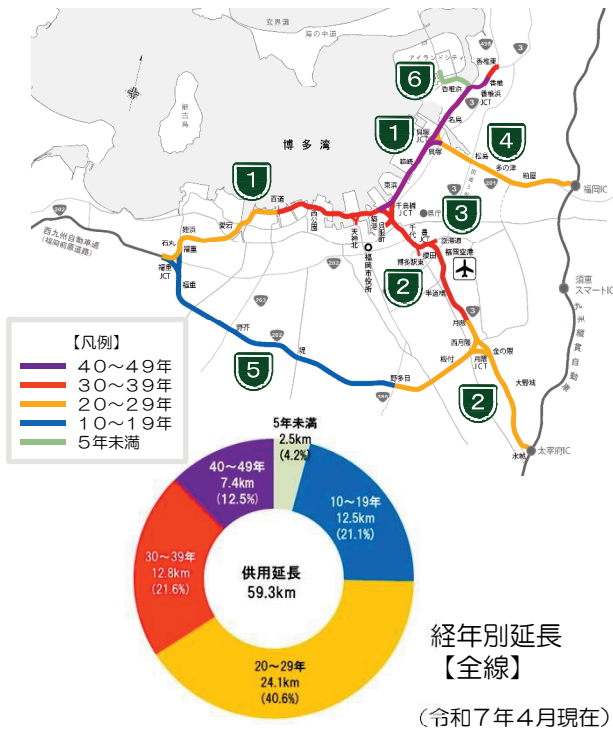
3) 老朽化・予防保全対策（福岡高速道路）

路線延長の約3割が供用から30年以上経過したことや、交通量の増加に伴い、橋梁などの老朽化が進んでいます。

このため、1～5号線を対象とした老朽化・予防保全対策事業を実施しています。

平成24年度から着手した1号線（香椎～千鳥橋JCT）については、令和4年度までに概ね工事を完了しました。引き続き、2号線および4号線の鋼製桁の塗装塗替などの橋梁補修や主要交差点における恒久足場の設置を推進していきます。

また、令和5年度から千鳥橋JCT～榎田のリフレッシュ工事（床版防水・舗装改良等）に順次取り組んでいます。



【老朽化・予防保全対策事業】

- ・対象路線：1～5号線
- ・事業期間：平成24年度～令和13年度の20年間
- ・対策事例：コンクリートの剥離・鉄筋露出部の断面修復、ひび割れの補修、床版防水、炭素繊維シート貼付、鋼製桁の塗装塗替、恒久足場の設置 等

【老朽化の状況写真】



＜コンクリート床版＞
疲労によるひび割れ・漏水



＜鋼製桁＞
経年劣化による塗膜の剥がれ

【2号線（千鳥橋JCT～榎田）】

リフレッシュ工事・広報の概要



【2・4号線】

恒久足場設置



恒久足場設置前



恒久足場設置後

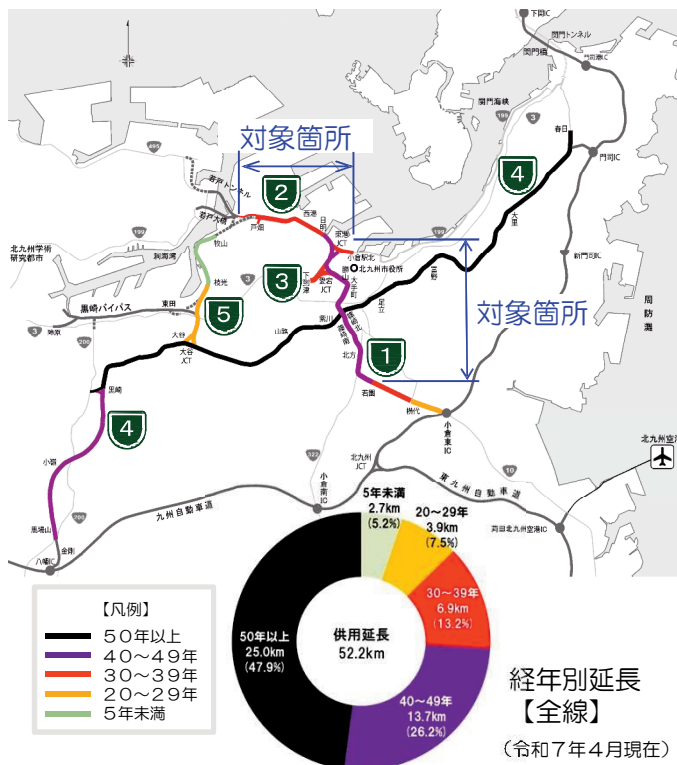
4) 大規模修繕（北九州高速道路）

平成15～20年度に4号線を対象として大規模補修を実施しましたが、1～3号線も路線延長の約9割が供用から30年以上経過し、橋梁などの老朽化が進んでいます。

このため、1～3号線を対象とした大規模修繕事業を実施しています。

令和4年度から床版防水などの橋梁上面工事を進めており、上面工事が完了した箇所について、令和6年度からは塗装塗替などの橋梁下面工事も順次着手しています。

引き続き、供用年次や老朽化の状況等を踏まえ工事を進めていきます。



【大規模修繕事業】

- 対象路線：1～3号線
- 事業期間：令和4～13年度の10年間
- 対策事例：床版補修、床版防水、
床版補強（炭素繊維シート貼付）、
鋼製桁等の塗装塗替、
交通管制センターの更新 等

【老朽化の状況写真】



＜コンクリート橋脚（梁）＞
コンクリートのひびわれ



＜コンクリート床版＞
疲労による損傷

【老朽化対策のイメージ】

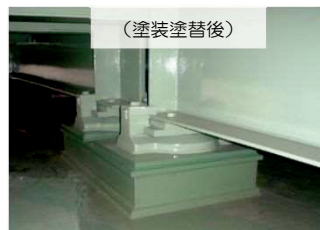
床版補修・床版防水の施工



伸縮装置取替



鋼製桁の塗装塗替



交通管制センターの更新



4 災害対応力の強化

1) 大規模災害への備え

災害時に備えた協定

大規模な災害発生時に、復旧対応を迅速化するため、関係機関である九州地方整備局、都市高速4団体及び民間9団体と協定を締結し、災害発生に備えています。

大規模な災害時の相互応援に関する協定（九州地方整備局）

目的：資機材及び職員の相互応援

協定機関：国土交通省九州地方整備局 【令和元年7月5日締結】

震災時等における応急復旧業務の相互協力に関する協定（都市高速）

目的：災害時の人材・資機材の相互協力

協定機関：首都高速道路株式会社 阪神高速道路株式会社

名古屋高速道路公社 広島高速道路公社

【平成24年3月7日締結】

大規模災害時に都市高速を管理する各団体が応急復旧業務を円滑に行うために相互に協力する目的で協定を締結しています。被災状況や通行止め状況などの情報交換や応急工事などの協力要請について定めています。



災害時における応急対策に関する協定（民間9団体）

目的：災害時の都市高速の復旧に資する協定

協定機関

日本建設業連合会（土木一般） 日本橋梁建設協会（鋼構造物）

P C建設業協会（P C構造物） 日本道路建設業協会（舗装等） 【平成18年3月1日締結】

建設コンサルタンツ協会（測量設計）

福岡県地質調査業協会（地質調査）

福岡県建設業協会（建築・土木一般）

【令和元年6月19日締結】

KDDI株式会社（通信）

【令和4年11月1日締結】

ソフトバンク株式会社（通信）

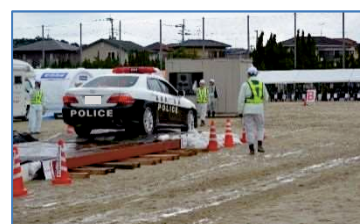
【令和7年3月31日締結】

災害時に備えた計画（BCP）

大規模災害時において業務を継続するため、優先的に実施すべき業務、対応手順、平常時の備えと対策等を定めた「大規模災害対応業務継続計画」（BCP）を策定しています。

BCPに基づく訓練として、緊急車両等が通行可能となる段差解消資機材を用いた道路啓開訓練を定期的の実施しています。

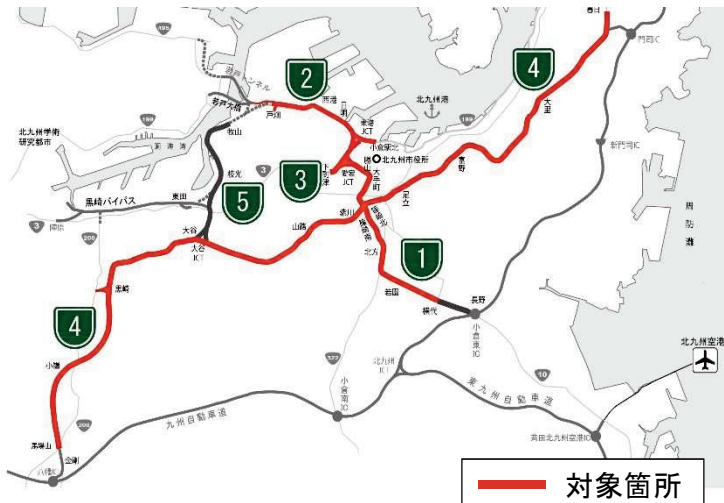
<道路啓開訓練状況>



2) 耐震補強（北九州高速道路）

大規模地震発生時の救急救命・復旧活動を支えるため、兵庫県南部地震や熊本地震と同程度の地震でも速やかな機能回復が可能な水準で令和5年度から耐震補強事業を実施しています。

コスト縮減の観点から、大規模修繕事業とも合わせながら耐震補強工事を進めています。



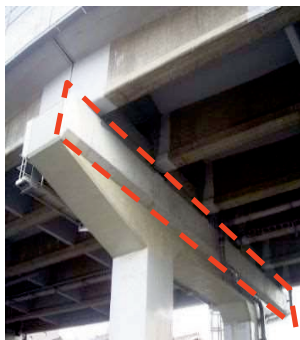
【耐震補強事業】

- ・対象路線：1～4号線
- ・事業期間：令和5～21年度の17年間
- ・対策事例：支承部の補強、縁端拡幅、連結ケーブル設置等
（大規模地震に対し、路面の大きな段差やずれを防止）

※平成20年度までに実施した耐震対策により、落橋・倒壊しないレベルの耐震性能は全線確保しています

【耐震補強工事のイメージ】

【縁端拡幅】



橋脚の桁かかり部分を拡幅

【支承部の補強】



支承周辺と補強部材を整備

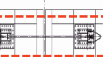
【連結ケーブル設置】



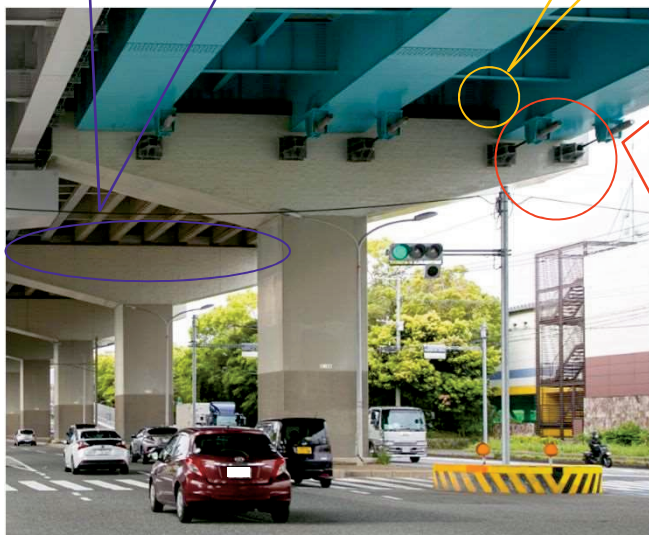
桁-橋脚連結



桁-桁連結



桁と橋脚や桁どうしを互いに連結



5 安全・快適なサービスの提供

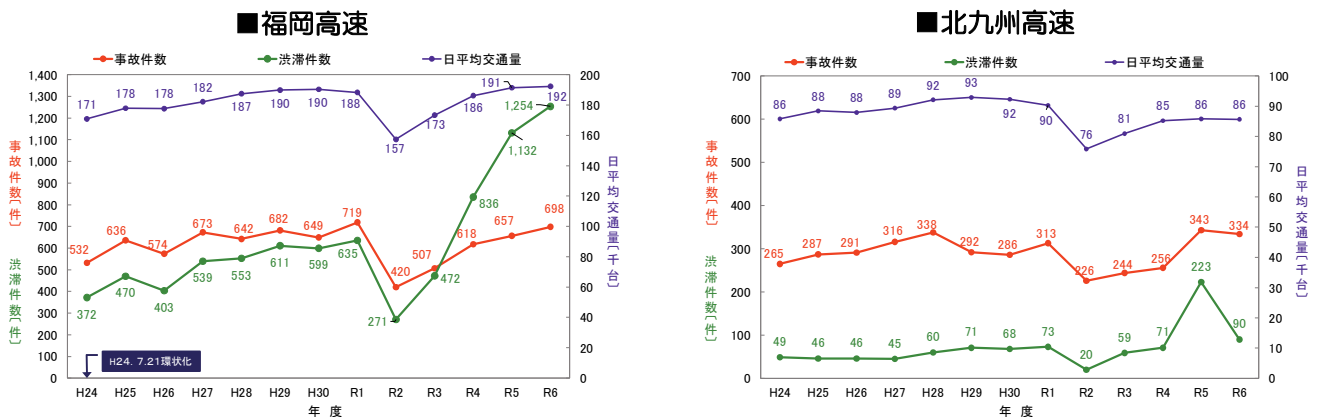
1) 事故・渋滞対策

事故・渋滞件数の推移

事故及び渋滞の減少に向け、これまで道路ネットワークの構築や安全対策を行ってきました。

今後も引き続き、事故及び渋滞対策に取り組んでいきます。

【事故・渋滞件数】

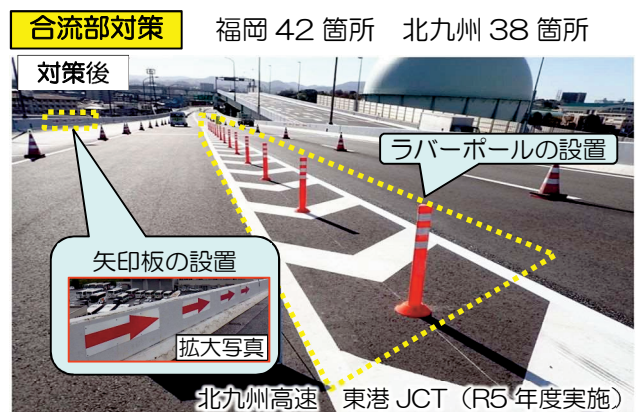
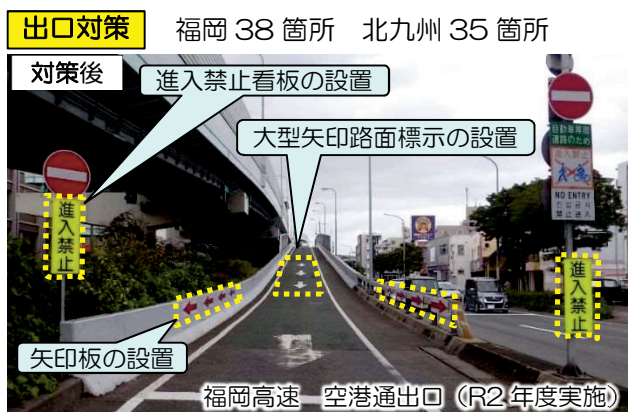


※1) 渋滞：走行速度 20km/h 以下で車列長 0.5km 以上の状態が 30 分以上継続した場合（事故に伴う渋滞を含む）

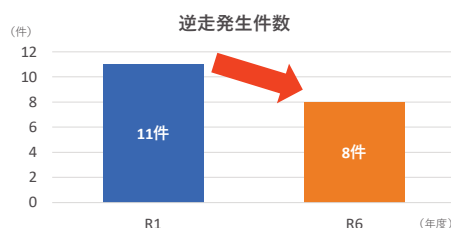
重大事故（逆走）に対する取組

■ 逆走対策：福岡・北九州高速 全出口、合流部・JCT 部

令和2年3月に北九州高速で発生した逆走による死亡事故を受けて、両高速で逆走対策を実施し、出口対策は令和2年度、合流部対策は令和6年度に完了しており、山路・富野 PA 逆走対策も引き続き進めていきます。また、ラジオ CM 等による注意喚起もあわせて行っています。



逆走発生件数（福岡高速+北九州高速）



対策前の令和元年度と比較し、逆走事案は減少

逆走対策の実績と予定

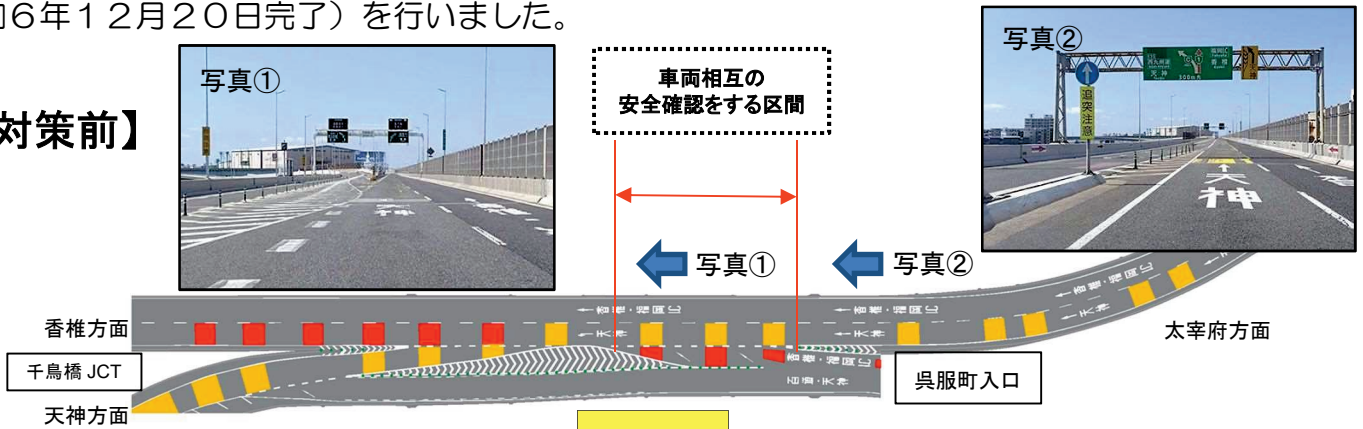
	福岡高速		北九州高速		
	出口対策	合流部対策	出口対策	合流部対策	PA部
計画	38箇所	42箇所	35箇所	38箇所	2箇所 〔富野PA 山路PA〕
R5年度まで	38	42	35	37	-
R6年度	-	-	-	1	-
R7,8年度(予定)	-	-	-	-	2

事故・渋滞対策の主な取組

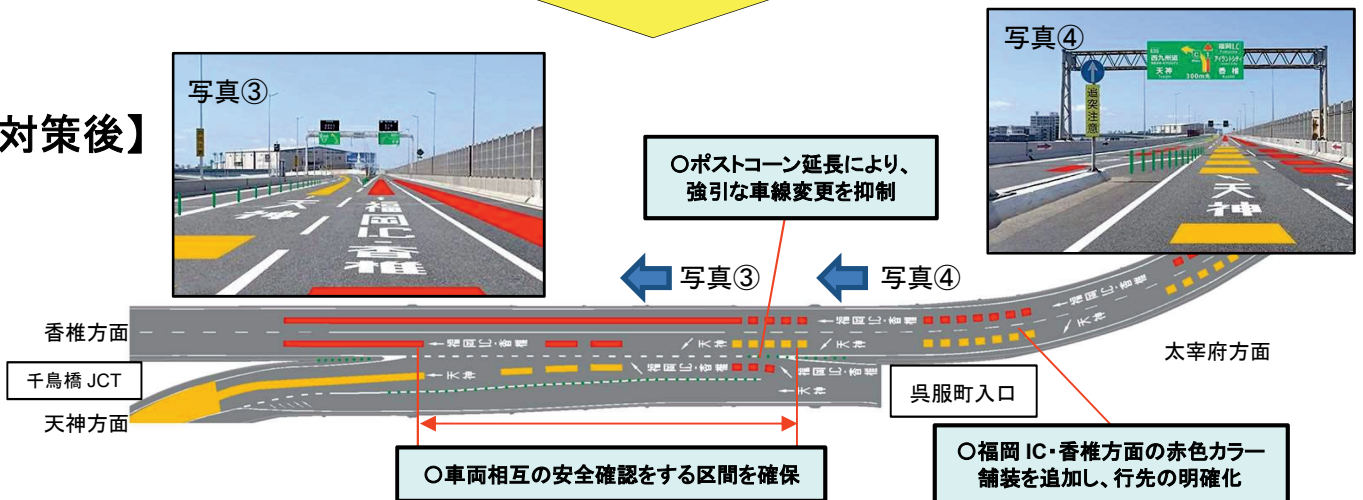
■ 事故対策：福岡高速 千鳥橋 JCT

呉服町入口～千鳥橋 JCT 間では、短区間での合流・分流が連続していたことから、急ブレーキ事象や追突・車両接触事故が多発していました。そのため、車両相互の安全確認する区間を確保し、カラー舗装により早めの車線変更を促すことにより、事故を抑制する対策（令和6年12月20日完了）を行いました。

【対策前】

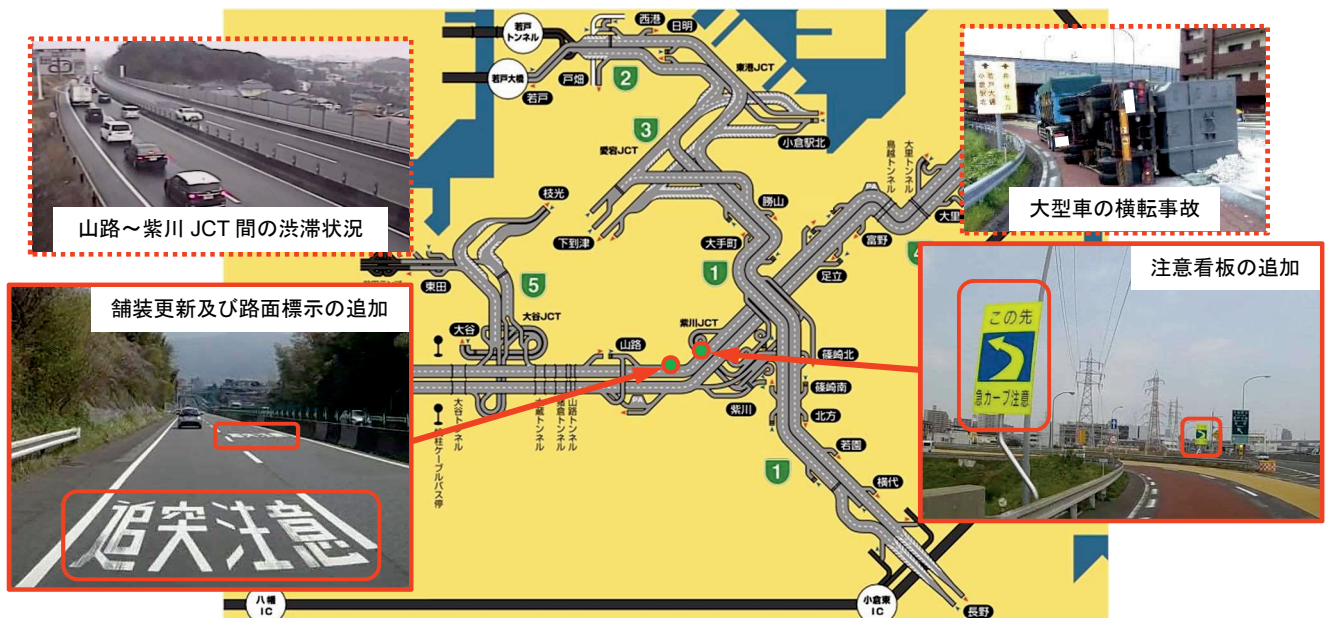


【対策後】



■ 事故・渋滞対策：北九州高速 山路～紫川 JCT、紫川 JCT

令和5年度の事故件数が最も多かった山路～紫川 JCT 間（21件、うち追突が16件）では、舗装を更新し、『追突注意』の路面標示を追加しました。また、令和6年度に大型車の横転事故が2回発生した紫川 JCT では、急カーブの注意看板を追加設置しました。



2) 交通管理の取組

交通管制

交通管制室では、交通監視カメラや非常電話などの情報収集機能を活用し、異常事態の有無、道路状況、気象状況の情報を収集し、道路情報板などの提供媒体を通してお客様に情報の提供を行っています。

また、異常事態発生時には、パトロールカーを現場に急行させ、事態の処理に関して適切な措置をとるよう指示するとともに、必要に応じて消防車、救急車などの出動要請を行っています。



交通管制室

道路パトロール

都市高速を定期または臨時に巡回し、事故、故障車、落下物や道路損傷などの安全で快適な交通確保に影響を与える事案の早期発見に努めています。

また、異常事態が発生した場合は、パトロールカーで現場に急行し、路上障害物の処理・排除や交通規制・交通整理を行い二次的な事故を防ぐための作業を行っています。

(参考-令和6年度実績)

落下物対応	: 約7,100件
故障車対応	: 約1,900件
事故対応等	: 約1,000件



落下物処理

道路情報収集

都市高速上に設置された各種センサーからの検知結果を集計し、交通及び気象状況などの現況情報を収集しています。



本線車両感知器



非常電話



交通監視カメラ



気象観測装置

道路情報提供

道路情報板、ライブカメラ、ETC2.0、ハイウェイテレホンなど様々な提供媒体を通して、お客様に一元化した情報を提供しています。

■ 道路情報板

渋滞等の道路交通情報を提供しています。



■ ライブカメラ

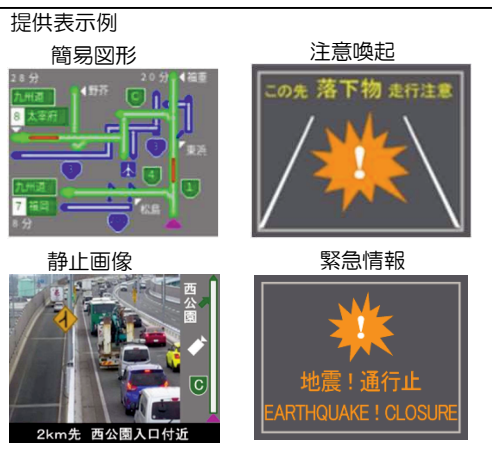
ホームページに道路状況の静止画像を提供しています。静止画像は1分ごとに更新されます。

(ホームページ 画面イメージ)



■ ETC2.0

道路に設置した通信アンテナとETC2.0対応車載器との間で通信を行い、渋滞や安全運転サポート等の情報をETC2.0対応カーナビで提供します。



■ ハイウェイテレホン

通行止や渋滞、平均所要時間などの道路状況をお電話及びホームページ等にてご案内しています。道路情報は約5分ごとに更新されます。

聞く! 音声にてご案内しています。

福岡ハイウェイテレホン (自動音声) ☎ 092-643-1300

北九州ハイウェイテレホン (自動音声) ☎ 093-931-1400

見る! ホームページサイトやスマートフォンサイトにてご案内しています。

ホームページサイトはこちらから

「道路交通情報」>「見る! ハイウェイテレホン」>「福岡・北九州都市高速」

- 情報料は無料ですが、別途通信費がかかります。
- 運転中のスマートフォンや携帯電話のご利用は法律で禁止されています。



3) お客様サービスの推進

利便性を高める取組

■ イラスト地図「スイスイマップ」

都市高速を利用する際の便利な情報をまとめたイラスト地図「スイスイマップ」を作成し、配布しています。出入口、料金案内、通行可能車両の基準など、役立つ情報が満載です。



■ SNS (LINE・X)

- 工事による規制やイベント情報など、都市高速ご利用のお客様に役立つ情報を提供しています。
- LINEのメニューを利用すると、簡単に公社ホームページにアクセスできます。

(LINE 画面イメージ)



“道路交通情報”や“料金案内”

(X 画面イメージ)



令和7年2月
運用開始

お客様からのご意見に対応した取組

お客様から直接ご意見・ご要望をお聞きする取組を行い、施設やサービスの改善などに活かしています。

■ ご意見をお聞きする取組

- お客様からの問い合わせ
電話に加え、ホームページのお問い合わせコーナーでもお客様からご意見をお受けしています。
- 道路モニター制度
一般公募した、50名／年のモニターに、アンケート調査を実施しています。
- お客様満足度（CS）調査
2～3年おきに、調査会社による大規模アンケート調査を実施しています。

6 信頼される事業運営

1) 料金収入・通行台数・供用延長の推移

福岡高速道路

令和6年度は、交通量は前年度比0.5%増、収入は前年度比0.6%増となり、いずれも過去最高を更新しています。（※増減率は日平均による比較）

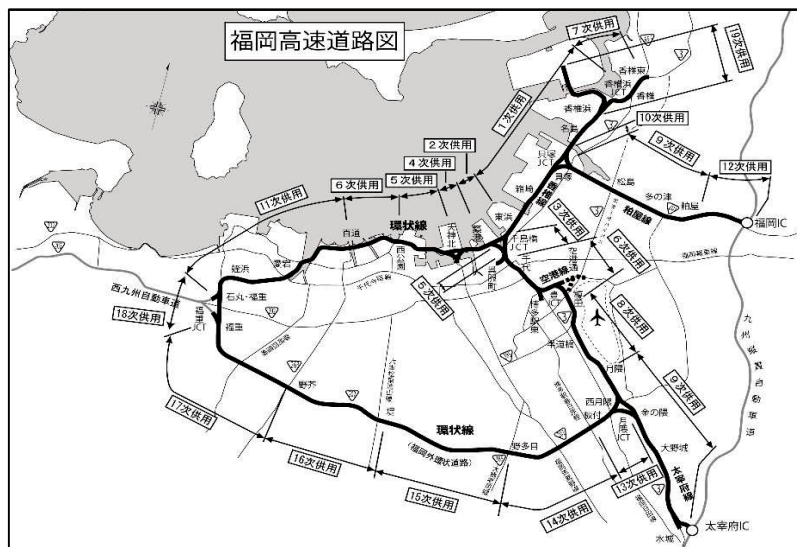
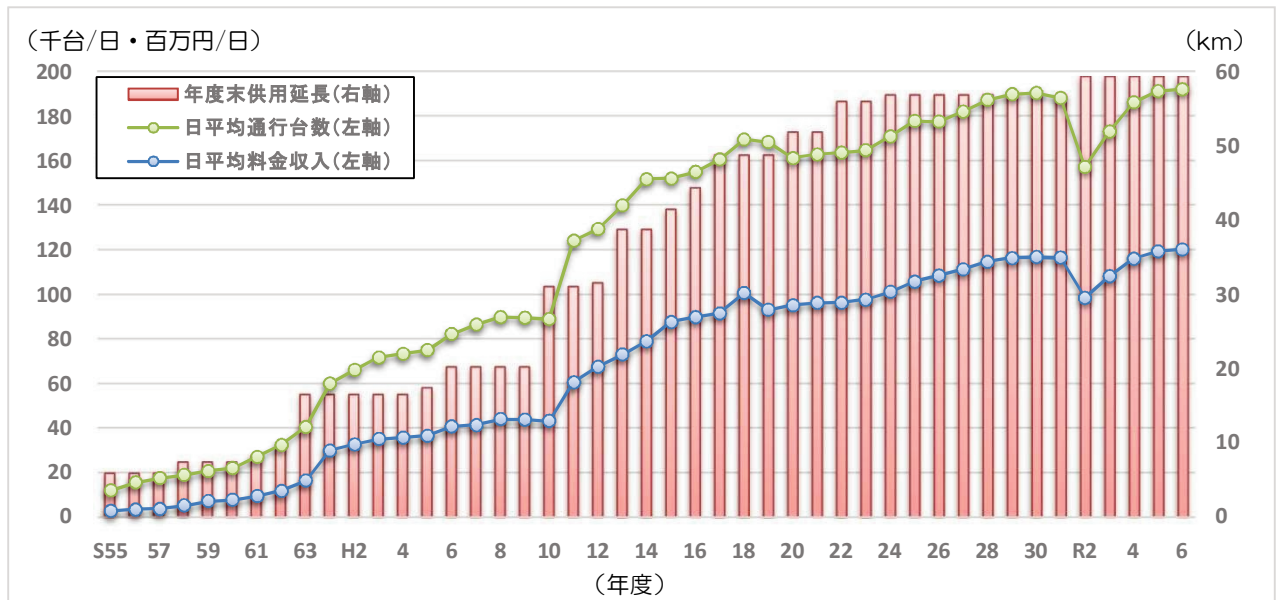
料金収入 438.3億円／年

日平均料金収入 1.20億円／日

日平均通行台数 192,332台／日

供用延長			
令和7年3月末現在 59.3km			
料 金			
普通車	630円	大型車	1,260円

E T C利用率 90.5% (R7.3月)
(対前年同月比 +0.6P)



供用延長・料金の推移					
供用区分	供用年月日 料金改定 区	供用延長 (km)	料金 (円)		
			普通車	大型車	
1次供用	S55.10.20 ア	5.9	200	400	
2次供用	S58.10.6 イ	7.4	350	700	
3次供用	S61.4.23 ウ	8.2			
4次供用	S62.11.6 イ	9.2	400	800	
5次供用	S63.10.31 ウ	11.3			
6次供用	H1.3.4 イ	16.5	500	1,000	
	H1.10.1 エ				
7次供用	H5.4.2 ウ	17.4	510	1,030	
8次供用	H6.4.4 ウ	20.2			
9次供用	H11.3.27 ウ	31.0			
	H12.3.28 エ				
10次供用	H12.11.21 ウ	31.5	550	1,100	
11次供用	H13.10.13 ウ	36.8			
12次供用	H14.3.10 ウ	38.7			
	H15.5.1 エ				
13次供用	H15.5.1 ウ	41.4			
14次供用	H16.6.27 ウ	44.3			
15次供用	H18.3.26 ウ	48.7	600	1,200	
16次供用	H20.4.19 ウ	51.8			
17次供用	H23.2.26 ウ	55.9			
	H24.7.21 ウ				
18次供用	H26.4.1 エ	56.8	620	1,230	
	R1.10.1 エ				
19次供用	R3.3.27 ウ	59.3	630	1,260	

※ ア: 供用+同日料金改定、イ: 供用+翌日料金改定
ウ: 供用のみ、エ: 料金改定のみ

北九州高速道路

令和6年度は、交通量は前年度比0.2%減、収入は前年度比0.1%減となり、台風や雪氷等による通行止めの影響により、前年度と同程度になりました。

(※増減率は日平均による比較)

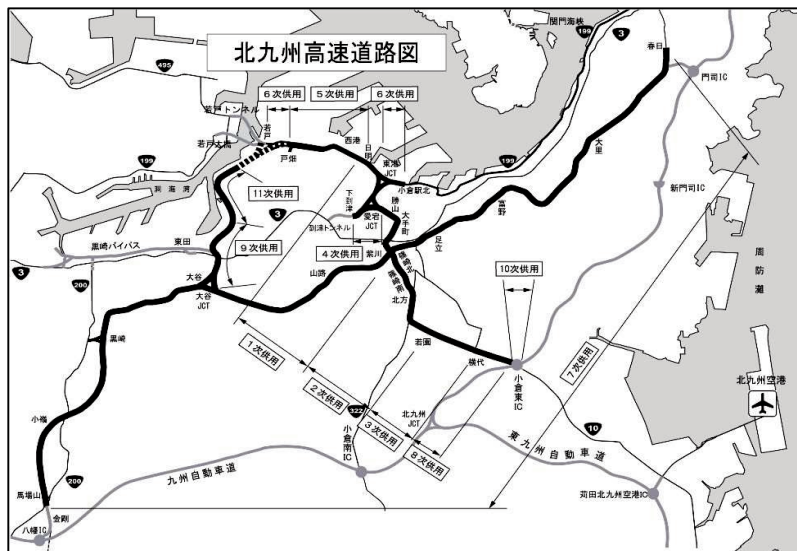
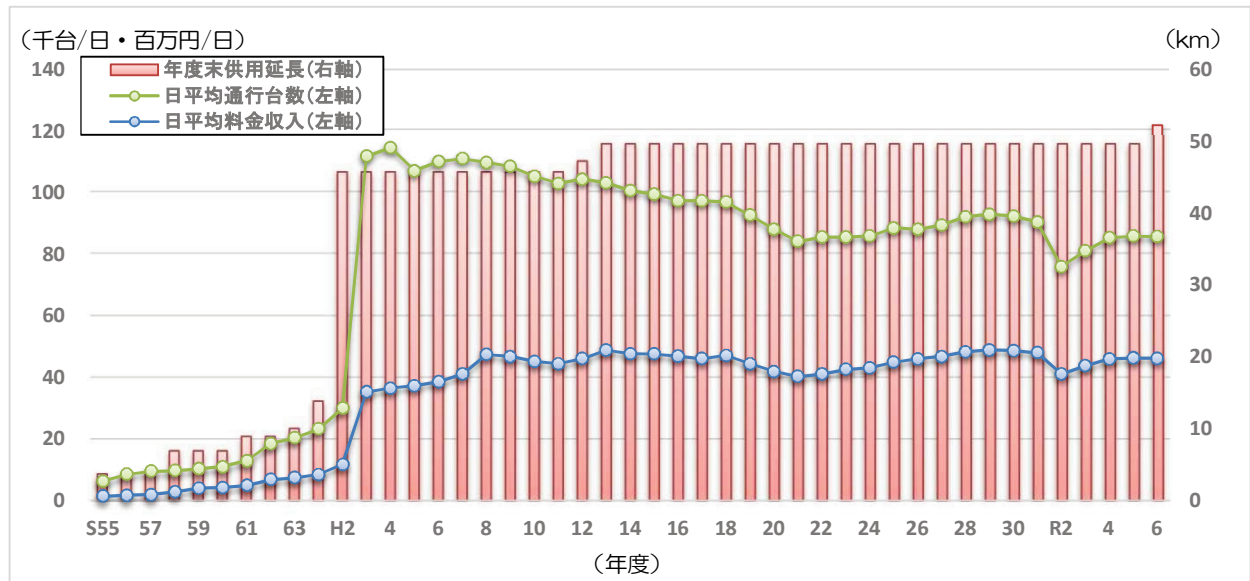
料金収入 167.7億円/年

日平均料金収入 0.46億円/日

日平均通行台数 85,626台/日

供用延長			
令和7年3月末現在 52.2km			
料 金			
普通車	520円	大型車	1,050円

E T C利用率 87.9% (R7.3月)
(対前年同月比 +0.8P)



供用延長・料金の推移					
供用区分	供用年月日 料金改定※1	供用延長 (km)	料金 (円)		
1次供用	S55.10.20	ア	3.7	150	300
2次供用	S58.10.6	イ	6.9		
3次供用	S61.12.2	ウ	8.9	350	700
4次供用	S63.12.17	エ	10.0		
5次供用	H1.8.30	イ	12.8		
6次供用	H2.3.31	ウ	13.8		
	H3.3.31	ア		※2	※2
7次供用	H5.4.1	エ	45.6		
	H7.9.30	イ			
8次供用	H12.7.26	ウ	47.1	450	900
	H12.11.1	エ			
9次供用	H13.7.2	ウ		500	1,000
	H18.2.26	ウ	49.5		
10次供用	H26.4.1	エ		510	1,030
	R1.10.1	エ			
11次供用	R7.3.1	ウ	52.2	520	1,050

※1 ア: 供用+同日料金改定、イ: 供用+翌日料金改定

ウ: 供用のみ、エ: 料金改定のみ

※2 H3.3.31からH5.3.31まで、4号線は距離別料金。

2) 高架下駐車場

福岡高速道路及び北九州高速道路の高架下の有効利用として駐車場の運営管理を行っています。

区 分	施設数	契約台数	料金収入 (百万円)
福 岡 駐 車 場	34	約1,200台	122
北九州 駐 車 場	47	約1,000台	111
計	81	約2,200台	233

* 施設数及び契約台数は令和7年4月1日現在

* 料金収入は令和6年度実績

3) 年度別収支の状況（令和6年度）

損益計算書の概要

（単位：億円）

	収 益			費 用					償還準備金繰入
	業務収入	業務外収益	計	道路管理費	一般管理費	業務外費用	損失補填引当金	計	
福岡・北九州高速道路	610.3	0.5	610.8	216.7	17.0	28.0	27.5	289.2	321.6
福岡高速道路	441.4	0.3	441.7	157.9	11.3	16.4	19.9	205.5	236.1
北九州高速道路	169.0	0.2	169.1	58.8	5.7	11.6	7.6	83.7	85.4

※ 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

会計処理の特徴

公社では、財政状態や経営成績を明らかにするため、企業会計原則に準じた会計処理を行っています。
 ＜根拠法令等＞地方道路公社法、同法施行規則、福岡北九州高速道路公社会計規程、同規程実施細則

■ 有料道路制度の会計の特徴は

- 有料道路制度は、借入金により道路を建設し、お客様からの料金収入により定められた期間内に償還し、償還完了後は無料開放する制度です。
- 毎年度の『収支差』（収入と費用の差）は全て投下資金（借入金）の償還に充当します。

■ 借入金の償還状況を適切に把握するために

- 公社は、利益を配当する義務がなく、法人税法上の公共法人であるため、法人税を課せられたりすることがなく、収支差の全てを償還に充当します。
- 有料道路制度では、無料開放を実現するとの観点から、借入金の償還状況を会計処理において適切に把握するため、新たな設備投資資金を積み立てるという企業会計上一般に採用されている減価償却費を計上する方式は採用していません。

■ 償還準備金積立方式を採用

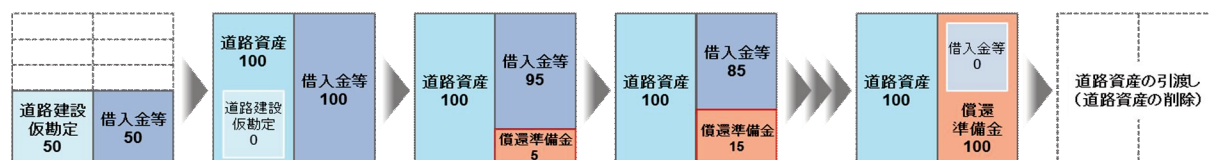
- 借入金の償還に充てられる各年度の『収支差』を『償還準備金繰入』として費用計上し、その累計額を『償還準備金』として負債に計上する方式を採用しています。
- 道路の資産を形成するのに要した費用を積み上げた『道路資産』と、借入金の返済に充てる『償還準備金』を対比することにより、償還状況が明確に把握できます。

償還準備金積立方式のしくみ

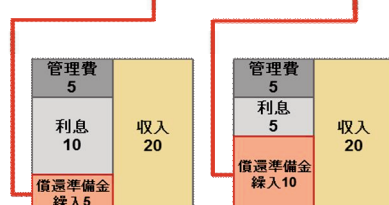
公社の貸借対照表と損益計算書にみる償還準備金積立方式のしくみ



■ 貸借対照表



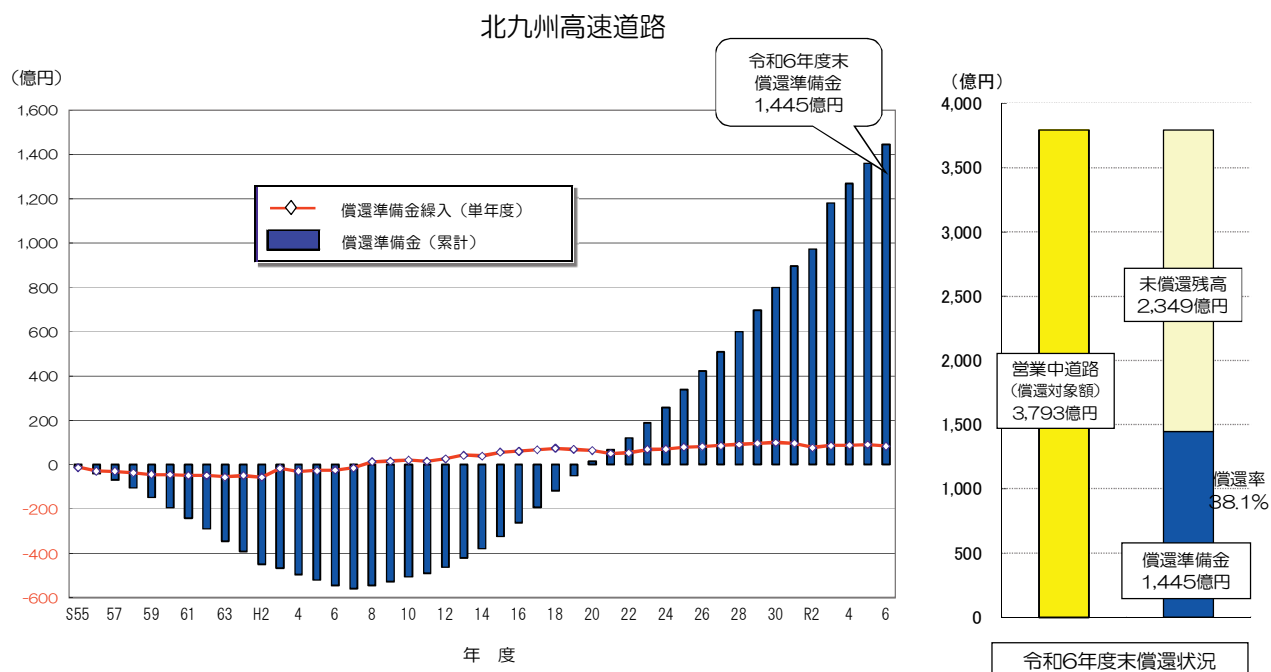
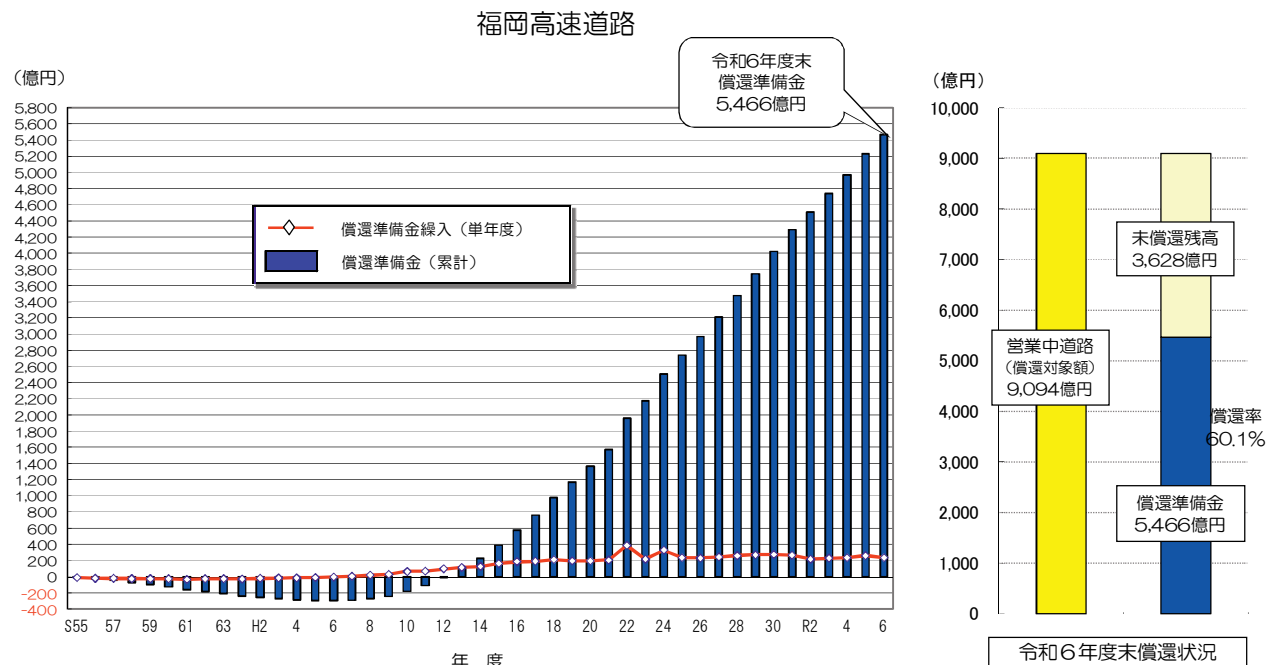
■ 損益計算書



償還準備金繰入により、償還準備金が増加し、その分借入金等が減少する。

償還準備金の推移

令和6年度決算では、福岡高速、北九州高速ともに昨年度並みの償還準備金繰入を確保しました。
今後も着実に償還準備金積立を行う見通しです。

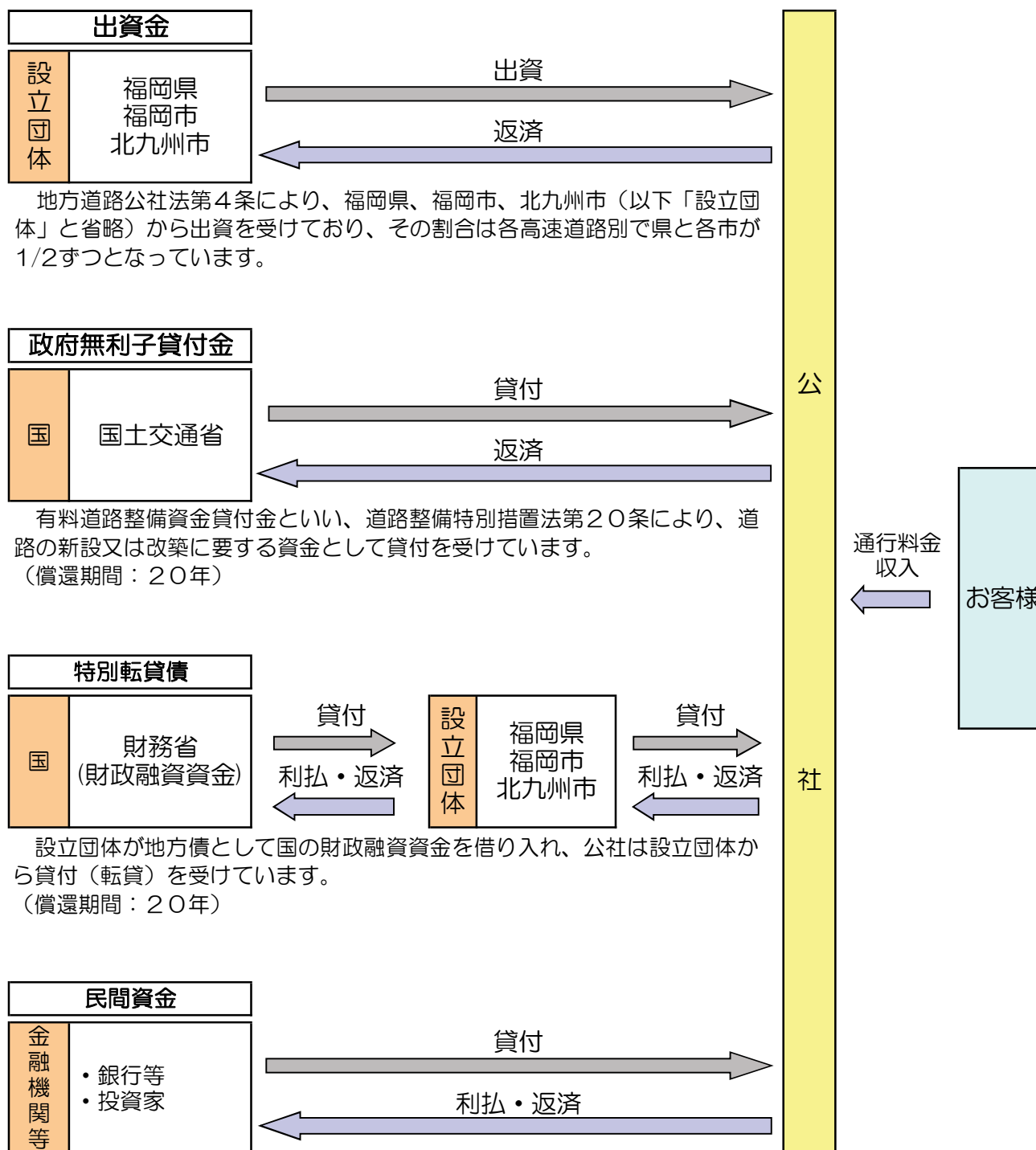


※ 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。
 償還準備金繰入：収益から費用を差し引いた毎年度の収支差
 償還準備金：償還準備金繰入の累計額
 償還率：償還準備金÷営業中道路（償還対象額）

4) 資金の調達と借入れ状況

資金の構成と返済の流れ

都市高速道路の建設にかかる資金は、設立団体、国、金融機関等からの出資金や借入金等で調達し、これを通行料金収入で一定期間内に返済する制度となっています。



公社債の発行や銀行からの貸付により資金を調達しています。
調達する資金には、地方道路公社法第28条により、設立団体の債務保証が付されており、より一層信用力が高いものとなっています。
(償還期間：5年、7年、10年、15年、20年)

資金の借入れ状況

【全体】

(単位：億円)

	R5年度末 借入金残高 A	R6年度 借入額 B	R6年度 償還額 C	R6年度末借入金残高	
				計 A+B-C	構成比 %
出資金	2,256	9	0	2,265	38.1%
無利子貸付金	479	15	39	456	7.7%
小計（無利子）	2,735	24	39	2,720	45.7%
特別転貸債	202	21	33	191	3.2%
金融機構資金	8	0	3	5	0.1%
民間資金	3,185	15	169	3,031	51.0%
小計（有利子）	3,395	36	204	3,227	54.3%
合計	6,130	60	243	5,947	100.0%

【福岡高速道路】

(単位：億円)

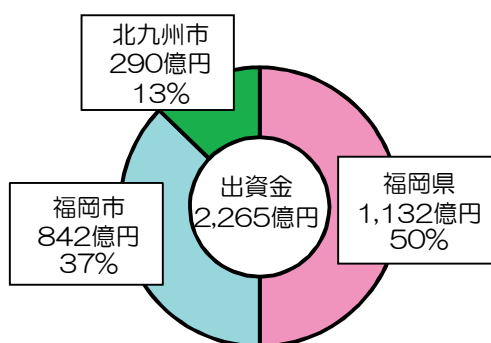
	R5年度末 借入金残高 A	R6年度 借入額 B	R6年度 償還額 C	R6年度末借入金残高	
				計 A+B-C	構成比 %
出資金	1,678	6	0	1,684	45.8%
無利子貸付金	162	10	30	142	3.9%
小計（無利子）	1,840	17	30	1,827	49.7%
特別転貸債	177	15	27	164	4.5%
金融機構資金	6	0	3	3	0.1%
民間資金	1,799	10	126	1,683	45.8%
小計（有利子）	1,981	25	155	1,851	50.3%
合計	3,821	42	185	3,678	100.0%

【北九州高速道路】

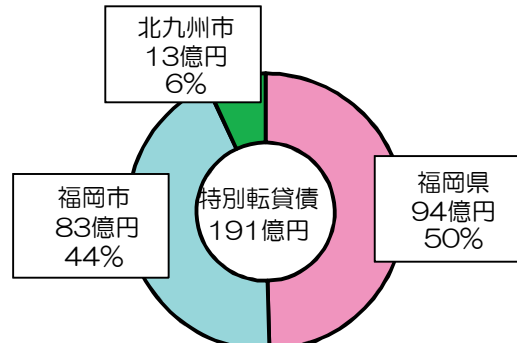
(単位：億円)

	R5年度末 借入金残高 A	R6年度 借入額 B	R6年度 償還額 C	R6年度末借入金残高	
				計 A+B-C	構成比 %
出資金	578	3	0	581	25.6%
無利子貸付金	317	5	9	313	13.8%
小計（無利子）	895	7	9	894	39.4%
特別転貸債	25	7	5	27	1.2%
金融機構資金	2	0	1	1	0.0%
民間資金	1,387	5	43	1,348	59.4%
小計（有利子）	1,414	11	49	1,376	60.6%
合計	2,309	19	58	2,269	100.0%

※ 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。



出資金受入状況
(令和6年度末)



特別転貸債借入残高
(令和6年度末)

5) 令和7年度予算

(単位：億円)

事業 区分	収 入				支 出			
	項 目	福岡 高速道路	北九州 高速道路	計	項 目	福岡 高速道路	北九州 高速道路	計
建設事業	出資金	5	2	7	高速道路建設費	29	1	29
	政府無利子貸付金	8	3	11	高速道路改築費	0	10	10
	特別転貸債	12	4	16	一般管理費	4	1	5
	民間借入金	8	3	11	建設利息	1	0	1
	小 計	34	12	45	小 計	34	12	45
管理事業	高速道路料金収入	433	166	599	維持改良費(*1)	154	68	222
	駐車場料金収入	2	1	3	業務管理費(*2)	69	39	108
	原因者負担金受入	1	1	1	原因者負担補修費	1	1	1
	民間借入金	101	183	285	一般管理費	12	7	19
	業務外収入	1	1	1	業務外支出	301	238	539
					(内 元金償還金)	(286)	(226)	(512)
					(内 支払利息等)	(15)	(12)	(27)
	小 計	537	352	889	小 計	537	352	889
その他	受託業務収入等	13	1	14	受託業務費等	13	1	14
合計		584	365	949		584	365	949

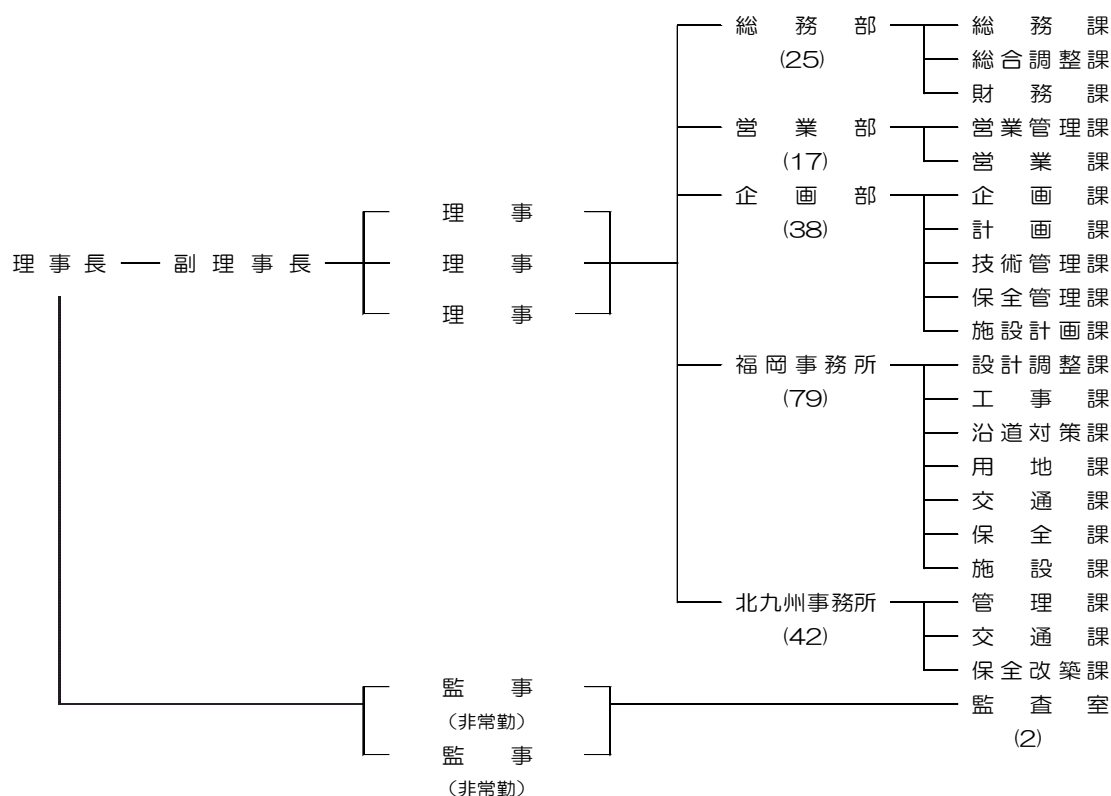
※端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

(*1) 維持改良費：高速道路及び附属施設の維持補修・改良工事に要する経費

(*2) 業務管理費：高速道路の料金収受業務や交通管理管制業務委託ほか管理に要する経費

6) 役員・組織

令和7年7月1日現在



7) 主な経緯（計画路線・償還期間・主な供用・その他）

[延長は、総延長を示す。]

年月		福岡高速道路	北九州高速道路
1971年 (昭和46年)	11月	福岡北九州高速道路公社設立	
1972年 (昭和47年)	3月	当初の計画【21.2km】の大臣許可	当初の計画【19.9km】の大臣許可
1980年 (昭和55年)	10月	都市高速の償還期間30年	
		最初の供用：香椎～東浜[延長5.9km]	最初の供用：篠崎北～日明[延長3.7km]
1987年 (昭和62年)	11月	天神北供用[延長9.2km]	
1989年 (平成元年)	3月	百道・榎田・空港通供用[延長16.5km]	
1990年 (平成2年)	7月		計画の延伸【45.6km】 ・4号線[31.8km]新規組入れ ・1号線[下道津～西本町：6.1km]削除
1991年 (平成3年)	3月		旧道路公園より北九州道路・北九州直方道路 引継ぎ、4号線として春日～馬場山間供用 [延長45.6km]
	10月	計画の延伸【28.6km】 ・1号線[福重：3.2km]、2号線[月隈：2km] ・3号線[見直し：-0.9km] ・4号線[3.1km]新規組入れ	
1997年 (平成9年)	12月		計画の延伸【47.1km】 ・1号線[長野：1.5km]
1998年 (平成10年)	2月	計画の延伸【38.7km】 ・2号線[水城：6.3km]、4号線[福岡IC：3.8km]	
	11月		計画の延伸【54.7km】 ・5号線[7.6km]新規組入れ
	12月	計画の延伸【56.8km】 ・5号線[18.1km]新規組入れ	
1999年 (平成11年)	3月	償還期間を30年から40年に延長 水城（太宰府IC接続）・粕屋供用[延長31.0km]	
2000年 (平成12年)	7月		償還期間を30年から40年に延長 長野供用[延長47.1km]
2001年 (平成13年)	7月		枝光供用[延長49.5km]
	10月	福重供用（西九州自動車道接続）[延長36.8km]	
2002年 (平成14年)	3月	福岡IC接続[延長38.7km]	
	12月		平成15年度政府予算において新規制度の創設（償還期間の制度改正【40年→50年】） 『北九州高速の大規模補修に対する公的助成の拡充』
2003年 (平成15年)	5月	板付供用[延長41.4km]	
2004年 (平成16年)	3月		計画の見直し【49.5km】 ・大規模補修工事新規組入れ ・5号線[戸畑～枝光：5.2km]削除
2006年 (平成18年)	2月		償還期間を40年から50年に延長
	4月	ETC運用開始	小倉東IC接続[延長49.5km]
2008年 (平成20年)	11月		ETC運用開始
2011年 (平成23年)	12月	平成24年度政府予算において新規制度の創設（償還期間の制度改正【40年→50年】） 『福岡都市高速道路の老朽化・予防保全対策に対する償還期間の延長』	
2012年 (平成24年)	7月	償還期間を40年から47年に延長 老朽化・予防保全事業着手	
		5号線全通（環状化）[延長56.8km]	
2015年 (平成27年)	3月	福岡県・福岡市・公社の三者で、自動車専用道路アイランドシティ線及び福岡空港関連の自動車専用道路の整備を進めていくことについて合意	
2016年 (平成28年)	9月	計画の延伸【59.3km】 ・6号線[2.5km]新規組入れ	
2021年 (令和3年)	3月	6号線（アイランドシティ線）供用[延長59.3km]	
	5月	計画の延伸【60.5km】 ・3号線（空港線）[阪] 空港北口：1.2km]	
2022年 (令和4年)	3月		償還期間を50年から60年に延長
	4月		1～3号線大規模修繕事業着手
2023年 (令和5年)	4月		計画の延伸【54.7km】 ・5号線（戸畑枝光線）[戸畑：5.2km]
2025年 (令和7年)	3月		5号線（牧山～枝光）供用[延長52.2km]

お客様問い合わせ番号
(平日/8:45~17:30)

福岡高速 092-631-0122
北九州高速 093-922-6811

事故や災害など緊急連絡先

緊急ダイヤル #9910
福岡高速 092-631-0123
北九州高速 093-922-6812

ハイウェイテレホン
(自動音声/24時間)

福岡高速 092-643-1300
北九州高速 093-931-1400

■ 総 務 部	役員受付	TEL(092)631-3281
	総務課	TEL(092)631-3282
	総合調整課	TEL(092)631-0161
	FAX	(092)631-3287
	財務課	TEL(092)631-3289
	FAX	(092)631-0128
■ 監 査 室	監査室	TEL(092)631-3295
	FAX	(092)631-0128
■ 営 業 部	営業管理課	TEL(092)631-3292
	営業課	TEL(092)631-3284
	FAX	(092)643-6228
■ 企 画 部	企画課	TEL(092)631-3291
	計画課	TEL(092)631-3290
	技術管理課	TEL(092)631-3293
	FAX	(092)643-7061
	保全管理課	TEL(092)631-3285
	施設計画課	TEL(092)631-0153
	FAX	(092)641-6260
■ 福岡事務所	設計調整課	TEL(092)631-0134
	工事課	TEL(092)631-0173
	FAX	(092)632-5591
	沿道対策課	TEL(092)631-0148
	駐車場専用	TEL(092)643-6114
	FAX	(092)643-0972
	用地課	TEL(092)631-0136
	補償係	TEL(092)631-0140
	FAX	(092)631-6830
	交通課	TEL(092)631-0123
	FAX	(092)632-5559
	保全課	TEL(092)631-3304
	施設課	TEL(092)631-6868
	FAX	(092)643-2070
■ 北九州事務所	管理課	TEL(093)922-6813
	保全改築課	TEL(093)922-6815
	駐車場専用	TEL(093)922-7036
	FAX	(093)922-6816
	交通課	TEL(093)922-6812
	FAX	(093)922-6829



福岡北九州高速道路公社

〒812-0055 福岡市東区東浜2丁目7番53号

<https://www.fk-tosikou.or.jp>

都市高速

検索



都市高速
ホームページ

